

社会民主主義 フォーラム

全国 通信

No.64

2025年
1月7日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL: 03-6272-8135

FAX: 03-6272-8136

Mail: forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

暮らしに明かりが灯る実りある1年に



新年あけましておめでとうございます。

衆議院で与党が過半数割れする中、緊迫した論戦が年明けの通常国会から本格化します。野党がどれだけまとまって与党と対峙できるか、野党が掲げる政策を実現できるのか、立憲民主党にも重い責任が課されています。

また今年は、東京都議選や地方議会の中間選挙、そして夏には吉田ただとも共同代表が立候補する参議院議員選挙も闘われます。

立憲民主党が、これらの選挙戦で大きく飛躍し、有権者、そして国民から期待される存在になれるよう、私たちもがんばりあいましょう。

明るい希望の持てる年に

共同代表 吉田ただとも（参院選公認候補）



あけましておめでとうございます。

昨年の衆議院選挙をはじめフォーラム会員の皆様のご奮闘に敬意を表します。

私自身も、衆議院選挙における成果と

反省を踏まえ、本年7月の参議院選挙で勝利し、私に与えられた役割と責任を果たす決意です。一層のご支援をお願いします。

自由民主党と公明党は過半数割れし、少数与党となりました。

自公政権は、金権腐敗政治、軍事大国化と防衛増税、原発回帰、憲法改悪や財政規律を無視した補正予算等の悪政を強行してきましたが、野党共闘を追求しながら、こうした悪政の転換を成し遂げなければなりません。本年が会員・ご家族の皆様方にとりまして、明るい希望の持てる年になりますよう祈念申し上げます。

支え合う社会目指し、共に前進しよう

共同代表 羽田圭二（世田谷区議会議員）



新年を迎え新たな決意で挑んで参ります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、衆議院補欠選挙をはじめ、7

月の東京都知事選、10月の総選挙と文字通り選挙の年となりました。

国政選挙では「政治とカネ」「物価高・くらしの立て直し」が焦点となり、税金の使われ方や今後の社会保障のあり方に有権者の関心が深まっていることがわかりました。

改めて、税と社会保障改革に向けて、子どもから高齢者まで全世代にわたる普遍的な支援内容と税の再分配・財源議論を含めた政策提起が求められています。

今年は12年に一度、参議院選挙と都議選が同時期に実施される年です。昨年の選挙闘争を教訓に、各種選挙を闘い抜き勝利しましょう。

賃金・所得を増やし暮らしを立て直す

代表代行 吉川はじめ（衆議院議員）



明けましておめでとうございます。どうぞございます。

昨年の総選挙、皆さんから応援をいただきながら、選挙区での議席獲得とはならず、比

例復活で5期目の任に就くことになりました。

働く人や成果者の目線に立って信頼を勝ち取れるよう、謙虚に歩を進めていく決意です。

さて、総選挙の結果、与党が過半数割れし、一強多弱と言われた国会の姿が大きく変わりました。以前のように、重要な法案の審議で、最後は与党が数の力で押し切るようなことは、もうできません。一方、議席を大きく増やした立憲民主党も、掲げた政策の実現を怠るならば、国民、有権者からの支持を失いかねない大きな責任を課されていると考えます。

昨年成立した補正予算では、誰もが物価高に苦しみ、家計を何とかやりくりしている中、物価高対策としての3万円給付は、住民税非課税世帯に限定されました。他方、一民間会社に過ぎない半導体事業者のラピタスに8,000億円を支援し、今後7年間で10兆円規模の投資を行うことになりました。暮らしを軽視する政府の姿勢は、石破内閣になっても変わっていません。

この姿勢を変え、賃金や所得を増やすことを最優先とする政治の実現に全力を挙げます。

「政治が変わった」と実感できる年に

山としひろ（衆議院議員）



新年あけましておめでとうございます。どうぞございます。

昨年の総選挙では、全国の社民フォーラムの仲間の皆様から温かいご支援を賜り、当選を勝ち取ることができ

ました。私は議席の重みを忘れることなく、国会の内外で汗を流して働くことをお約束します。

さて、衆議院の自公過半数割れによって「国会の風景が変わった」と言われました。確かに、一般会計予算案が28年ぶりに修正され、政治改革も一定の前進を勝ち取りました。しかし、そこで満足してはいけません。

今年こそ「政治が変わった」と多くの国民に実感していただけるよう、通常国会で「熟議と公開」をより一層進めていかなければなりません。特に、物価高騰を上回る賃金の上昇、格差・貧困の是正、学校給食など教育の無償化、企業団体献金の廃止、選択的夫婦別姓制度の導入などの重要課題で鋭い論戦を展開し結果を出せるのか、立憲民主党の真価が問われています。

今年夏の参議院議員選挙は通常国会の働きぶりが大きな評価対象となります。吉田ただとも共同代表の大分県選挙区の勝利と立憲民主党の躍進に向けて、社民フォーラムが地域や労組に根差した活動を一丸となって進めていこうではありませんか。

第3回全国交流会・総選挙闘争交流会を開催



昨年12月14日、社会民主主義フォーラム第3回全国交流会・総選挙闘争交流会をオンラインで開催。18都県・53人が参加しました。立憲民主党・長妻昭代表代行から「立憲民主党の目指す社会について」と題した記念講演をいただき、その後の全体会では10都県の参加者から活動報告をいただきました。各地の活動を交流し合う、貴重な機会となりました（記念講演、各県からの報告については次号で要旨を紹介します）。